

2012年
サンダンス映画祭
ワールドシネマ監督賞

2011年
アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭
審査員特別賞&観客賞

2012年
フランス シネマ・デュ・レエル
ルイ・マルコレル賞

2012年 ノルウェー
ユーロドックドキュメンタリー映画祭
グランプリ

映したのほ、
パレスチナの
未来だった。

Five Broken Cameras

壊された5つのカメラ

2011年 / パレスチナ・イスラエル・フランス・オランダ / HD / カラー・白黒 / 90分
後援：駐日パレスチナ常駐総代表部 / 配給：浦安ドキュメンタリーオフィス

パレスチナ・ビリンの叫び

イマード・ブルナート&ガイ・ダビディ監督作品

A Film by Emad Burnat and Guy Davidi Photography : Emad Burnat

Editing : Véronique Lagoarde-Ségot, Guy Davidi

Produced by Christine Camdessus, Serge Gordey, Emad Burnat, Guy Davidi

Music : Le Trio Joubran (Samir Joubran, Wissam Joubran, Adnan Joubran)

Additional Photography : Yisrael Puterman, Guy Davidi, Jonathan Massey, Alexandre Goetschmann, Shay Carmeli Pollak

Sound Editing and Mixing : Amelie Canini Narrator : Emad Burnat

Production Companies : Guy DVD Films, Alegria Productions, Burnat Films Palestine

©Alegria - Guy DVD Films - Burnat Films Palestine / 2011

<http://urayasu-doc.com/5cameras>



「心を奪われる、並外れたドキュメンタリー！」

—The Hollywood Reporter (アメリカ)

「まぎれもなく圧倒的な映像!!」

—VARIETY (アメリカ)

2012年 エルサレム国際映画祭 最優秀ドキュメンタリー賞
 2012年 ロンドン オープンシティドキュメンタリーフェスティバル 最優秀賞
 2012年 英国 シェフィールドドキュメンタリーフェスティバル 観客賞
 2012年 ポーランド プラネートプラスドキュメンタリー映画祭 ミレニアム賞
 2012年 フランス シネマ・デュ・レエル ルイ・マルコレル賞
 2012年 ノルウェー ユーロドックドキュメンタリー映画祭 グランプリ
 2012年 サンダンス映画祭 ワールドシネマ監督賞
 2011年 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭 審査員特別賞&観客賞

息子の誕生をきっかけに手にしたカメラが、
パレスチナの現実を鮮明に写し出す

パレスチナの民衆抵抗運動の中心地、ピリン村に住むイマード・ブルナートは、未っ子の四男ジブリールの誕生を機にカメラを手に入れ、はからずも村の記録者となる。そんな中、ピリン村ではイスラエル軍による自爆攻撃を防ぐという名目で「分離壁」が築かれ、村の耕作地を強制的に奪われる。それに怒った村人たちは、毎週末、非暴力のデモを続け、イマードはそれを記録する。デモの際の銃撃などで彼のカメラは幾度となく壊れるが、そのたびに新たなカメラを手に入れ、5年間でのべ5台のカメラが、息子の成長、友人たちの闘い、そして拡大していく入植を、克明に切り撮っていく。

世界の映画祭で驚愕と称賛の声!

農業を営んでいたイマード・ブルナートがカメラを持ち、イスラエル人監督のガイ・ダビディと共に作り上げた本作は、2011年11月のアムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭での観客賞・審査員特別賞のダブル受賞を皮切りに、サンダンス映画祭ワールドシネマ監督賞、シネマ・デュ・レエル ルイ・マルコレル賞など世界の映画祭で受賞を続け、喝采を浴びている。このイマードの個人史的映像は、パレスチナ人たちのありのままの声を届けた作品として、世界各国で大きな注目を集めている。

5つのビデオカメラに一体何が??

1台目 (2005年初頭~2005年秋)

生まれた未っ子を撮るために入れたものの、入植地拡大計画に対して抗議デモを繰り広げる友人にもカメラを向ける。しかし、カメラはイスラエル兵が放った催涙弾によって……。



2台目 (2006年初頭~2007年春)

知り合いからカメラを譲り受け、何とか撮影を続ける。一家総出のオリーブ摘みは微笑ましい。友人の弟が入植地建設工事を止めようとして一人でクレーンによじ登る。カメラに収めるも入植者の手によって……。

3台目 (2007年冬~2008年初頭)

未っ子は3歳に。小さいながらもデモに連れていく。次々と村人が逮捕されるなか、わが家にも兵士が現れた。彼らを撮ると連行され、解放後も振り続ける私に更には無惨な表情……。

4台目 (2008年)

分離壁が延長され、他の村でも同じようなデモが起こる。近隣のニリン村での騒動に、ピリン村からも男んで応援に行く。ある日、村へ戻る途中、運転する車が分離壁に直撃、カメラは……。

5台目 (2009年初頭~2010年春)

村の闘争はメディアの注目を浴び、国内中の政治家がやってくるが、私利私欲で壁は一向になくならない。デモへの弾圧はますます厳しくなり、村で大きな出来事が起きてしまう……。

6台目に続く……

Five Broken Cameras 壊された5つのカメラ

urayasu-doc.com/5cameras

パレスチナ・ピリンの叫び

2011年 / パレスチナ・イスラエル・フランス・オランダ / HD
 カラー・白黒 / 90分 / 原題: 5 Broken Cameras

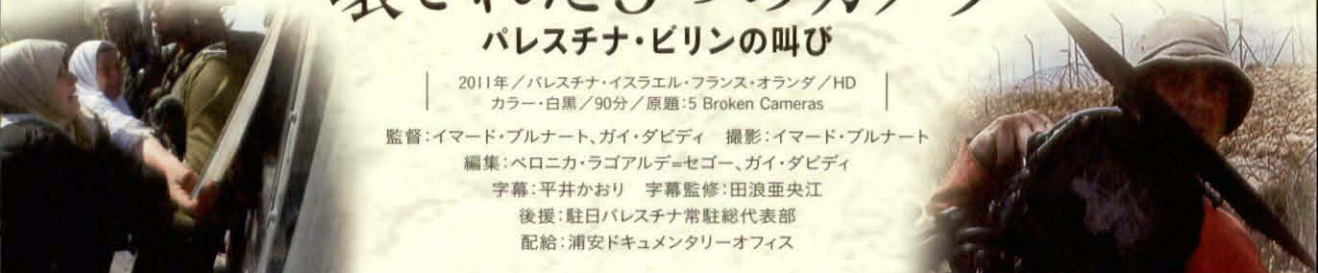
監督: イマード・ブルナート、ガイ・ダビディ 撮影: イマード・ブルナート

編集: ヘロニカ・ラゴアルデ=セゴ、ガイ・ダビディ

字幕: 平井かおり 字幕監修: 田浪亜央江

後援: 駐日パレスチナ常駐総代表部

配給: 浦安ドキュメンタリーオフィス



6月23日(日) 14時 エルパーク仙台ギャラリーホールにて上映 当日 1,200円
 (前売券は「ブッカフェ火星の庭」で発売 1,000円) 連絡先: 022-251-3106 E-mail: isigyou@ybb.ne.jp
 主催 パレスチナと仙台を結ぶ会 協力 みやぎヒューマンドキュメンタリーを観る会